



- 臨界前核実験に抗議しました
- ウクライナについて学び、考え、願う
- 被爆77年 イベントのご案内
- 被爆体験を受け継ぎたい方、託したい方を募集します
- 長崎平和推進協会 令和3年度 事業報告
- 「被爆体験の深化講座」を開催
- 「市民対象碑めぐり」久々の開催
- 被爆者証言ビデオ YouTube配信等開始
- 原爆死没者名簿「風通し」が行われました
- 音楽と、朗読と、言葉で紡ぐ ピーター・タウンゼントの平和への想い。観覧者募集
- TOPICS! (PeaceなねこTシャツ&バッグ販売開始!ほか)



協会サイト



Instagram企画「いま世界に届けたい被爆者の言葉」でメッセージを伝える被爆者たち

アメリカ合衆国大統領  
ジョー・バイデン閣下

公益財団法人 長崎平和推進協会  
理事長 調 漸

貴国が昨年6月と9月に、核爆発を伴わない臨界前核実験を西部ネバダ州の実験場で実施したとの報道に接しました。ウクライナに軍事侵攻したロシアは、核の使用を示唆し、また北朝鮮の核実験再開の動きも懸念されるなど、核使用の現実味が増している中で明らかとなった貴国による臨界前実験は、「長崎を最後の被爆地に!」と核兵器の廃絶を訴えてきた被爆者の想いを踏みにじるものです。

被爆地長崎において官民一体となり核兵器廃絶・世界恒久平和の実現を目指している私ども公益財団法人長崎平和推進協会は、核兵器廃絶を訴える被爆者の声に耳を傾けることなく、核兵器の役割を強化する貴国の行為に対し、強い憤りを感じます。

貴台は大統領選挙期間中に「核兵器のない世界に近づこう取り組む」と表明されたはずですが。

今回明らかとなった臨界前核実験に強く抗議すると同時に、5月に来日が予定されている貴台には、ぜひ被爆地長崎を訪問していただき、核兵器が人類に何をもたらしたのかを知り、被爆地の切なる思いを受け止め、核兵器のない世界の実現のためにリーダーシップを発揮されることを強く求めます。

# 臨界前核実験に 抗議しました

令和3年6月と9月にアメリカが臨界前核実験を行っていたとの報道を受け、ジョー・バイデン大統領と在日大使館のラーム・エマニエル特命全権大使に宛てた抗議文を、4月14日に送付しました。

大統領選挙期間中に「核兵器のない世界に近づこう取り組む」と表明し、5月に来日予定とされていたバイデン大統領に対し、「核兵器が人類に何をもたらしたのかを知り、被爆地の切なる思いを受け止め、核兵器のない世界の実現のためにリーダーシップを発揮されることを強く求めます」と訴えました。

抗議文は、日本語と英語の2か国語で送付しています。

## ウクライナについて学び、考え、願う

### 平和案内人全体会



5月14日、平和案内人全体会を開催しました。

今回は、長崎大学グローバル連携機構の高橋純平助教をお招きして「私が見てきた素顔のウクライナとロシア」をテーマとしたご講演をいただきました。

高橋助教は、長年ロシア語の通訳者として、ウクライナなどのロシア語圏に赴かれて交流・研究活動を行ってこられました。ウクライナ、ロシア両国民と30年以上交流してきた経験を踏まえて、お話ししてくださいました。

参加した平和案内人約50人は、熱心に耳を傾けていました。

ロシアによるウクライナ侵攻が続く中、「二度と同じ体験をさせない」と訴え続ける被爆者の声を、「いま世界に届ける被爆者の言葉」と題し、3月から協会Instagramで発信しています。

5月26日現在、Instagramでは16人の言葉を紹介しています。協会ウェブサイト「お知らせ」コーナーでは紹介した被爆者の言葉を掲載していますので、こちら是非ご覧ください。

▼Instagram



▼協会サイト



### Instagram 投稿企画

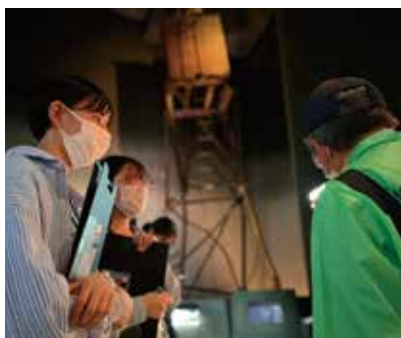


## 平和案内人による資料館・祈念館ガイド

期間 8月7日(日)～8月9日(火)9:00～20:00

受付 原爆資料館正面入口

ボランティアガイド「平和案内人」が、原爆資料館や追悼平和祈念館等を案内します。



# 被爆77年 イベントのご案内

## 被爆77年 ナガサキ原爆写真展

期間 7月25日(月)～8月5日(金)8:30～18:30

※初日は13:30から  
最終日は15時まで

場所 追悼平和祈念館  
交流ラウンジ



## 「永遠の会」による常駐朗読

期間 8月8日(月)～8月9日(火)  
9:00～18:00

場所 追悼平和祈念館交流ラウンジ

追悼平和祈念館所蔵の被爆体験記を朗読します。



## 第37回 平和音楽祭

日時 8月6日(土)14:00～16:00

場所 原爆資料館ホール

問い合わせ 平和音楽祭事務局 (☎095-823-9373)

## 平和の灯

日時 9月24日(土)  
17:45～19:00

場所 爆心地公園

問い合わせ  
平和の灯実行委員会  
(☎095-844-3913)



# 被爆体験を受け継ぎたい方、託したい方を募集します

高齢化により、被爆体験を身近に聞ける機会が少なくなって来た事は実感していたので、次の世代へ伝える一助にと思い交流会へ参加しました。

築城さんから実際の体験に加え、その時に感じた事もお聞きし、是非引き継ぎたいと思い講話を行う様になりました。

被爆体験を次の世代、そして世界へ伝えて行くのは、今この世界を生きる全ての人の務めだと思います。

交流会では、伝えたい思いと被爆者を上手く繋いで頂き感謝しています。

是非、この機会にご参加ください。

長崎に原爆が投下されてから77年。被爆者の高齢化が進み、直接語れる時間も少なくなっています。忘れてはいけない被爆者の体験や思いを受け継ぎ、次世代に語り伝える「語り継ぐ被爆体験推進事業」では、被爆体験を受け継ぎたい方、託したい方を募集します。

被爆体験を受け継ぐ方には、原稿作成の支援や各種研修、実践練習など、講話者として活動できるまで、様々な支援を行っています。

ご家族等に被爆者がいない方や、被爆体験を伝えたいけれど引き継ぐ方がいない被爆者の方の出会いの場として、「交流会」を開催します。

## まずは知ってみませんか? 交流会のご案内

募集対象 被爆体験を受け継ぎたい方、託したい方

交流会日時 ①9月17日(土)14:00～16:30  
②9月18日(日)14:00～16:30

開催場所 原爆資料館 平和学習室 募集締切 9月2日(金)

応募方法 申込書をメールまたはFAXでお送りください

●詳細は協会ウェブサイトをご覧ください

交流証言者  
鈴木健二さん



# 長崎平和推進協会 令和3年度 事業報告

1年間に取り組んだ主な事業をご報告します

## I 平和推進事業費 50,297,445円 (①+②+③+④+⑤+⑥)

### ① 発刊事業費 1,127,061円

会報「へいわ」や「平和のあゆみ」等の発行の他、SNSで情報を発信した



### ② 啓発事業費 3,546,918円

被爆体験講話者派遣 ★5ページで詳しく紹介!

原爆被災写真パネル・DVD貸出

平和学習用資料として写真パネル、DVDを貸し出した

国連軍縮週間行事「市民のつどい」

国連軍縮週間(10月24日～30日)に合わせ、10月30日に「市民のつどい」を開催した

### ③ 継承事業費 5,101,456円 (長崎市からの受託事業) ★5ページで詳しく紹介!

県外原爆・平和展

語り継ぐ被爆体験(家族・交流証言)推進

青少年ピースボランティア育成

青少年ピースフォーラム

青少年平和交流

平和学習発表会



### ④ 調査研究費 92,200円

7月31日に広島市で開催された「国際平和シンポジウム」に理事長等が出席

### ⑤ 育成事業費 4,850,827円

部会活動 平和意識の啓発・高揚を図るため、会員で組織する4部会が自主的な活動に取り組んだ

①継承部会：41人 ②国際交流部会：24人 ③写真資料調査部会：9人 ④音楽部会：17人

平和案内人育成・派遣 ★5ページで詳しく紹介!

アジア青年平和交流事業 長崎の高校生・大学生が提案した平和に関する企画を、企画者自身で実施した

平和事業支援・秋月 Grant 協会の活動趣旨と合致する事業等に対し、共催・後援や助成を行った



### ⑥ その他費用 35,578,983円 人件費、事務費など

## II 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館運営事業 254,449,181円

「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」の管理・運営、原爆死没者の追悼と平和祈念に関する様々な事業を国(厚労省)から受託し、実施した

実施した事業 原爆死没者の氏名・遺影の登録・公開・名簿保管、被爆体験記等の収集・整理・公開・執筆補助、企画展・海外原爆展・国際平和映画祭等の開催、被爆体験記の朗読、家族・交流証言者等の派遣、アジアの若者による平和ネットワーク構築プログラム開催、「被爆の実相の伝承」オンライン化・デジタル化事業など



## III 収益事業 2,275,949円

自主財源を確保するため、原爆に関する書籍やオリジナルグッズを販売した。

書籍「長崎原爆資料館 資料館見学・被爆地めぐり「平和学習」の手引書」増補改訂版や、ピースなTシャツの販売を開始した。



## IV 法人会計 3,884,522円

社会保険労務士、税理士等から助言を受け、法人を的確に運営した。理事会・評議員会を開催した。また職員研修等を実施した。

# 被爆体験を語り継ぐために、色々な継承活動に取り組みました

## ★被爆体験講話者派遣

修学旅行団体や自治体等に継承部会員（被爆者）が被爆体験や平和への思いを語る「被爆体験講話」を実施した。また講話が急にできなくなった場合の代替案等として、4人分の「被爆者証言ビデオ」を作成した。  
**講話実績** 695件（小学校372件 中学校170件  
高校133件 一般20件）



## ★平和案内人育成・派遣

原爆資料館や追悼平和祈念館の他、被爆建造物等を案内する平和案内人を派遣した。1～7期生163人が登録し、活動している。  
**利用者数** 原爆資料館常駐ガイド1,918人  
原爆資料館予約ガイド688人  
碑めぐりガイド3,939人



## ★県外原爆・平和展

県外の方々に原爆の悲惨さや平和の大切さを伝える「県外原爆・平和展」を開催した。今回で47都道府県全てでの開催を達成した。

**開催場所** 富山県高岡市  
鳥取県鳥取市・倉吉市  
国際基督教大学  
東日本大震災・原子力災害伝承館



## ★語り継ぐ被爆体験 （家族・交流証言）推進

被爆者の体験や思いを語り継ぐ「家族・交流証言者」の育成・派遣を支援した。新しい参加者を募集し、各種研修などに取り組んだ。

**登録者** 129人  
（講話可能者48人、研修者81人）  
**講話回数** 166回（長崎市内外合計）



## ★青少年ピースボランティア育成

15歳から30歳未満の若者が、被爆の実相や戦争について学んだ。様々な視点で平和を考えるため、動画制作や英語、歴史、紙芝居などの自主企画グループを立ち上げて活動した。

**登録者数** 171人  
（高校生71人 大学生40人  
社会人15人 その他45人）



## ★青少年ピースフォーラム

各自治体とオンラインで繋いで開催した。被爆体験講話や被爆建造物等の紹介、紙芝居の朗読など、例年に近い形での実施となった。

**開催日** 8月8・9日  
**参加者** 18自治体178人、  
青少年ピースボランティア46人



## ★青少年平和交流

長崎市内の高校生を対象に、ハワイに関する研修などを実施し、ハワイの学生らとのオンライン交流会を開催した。

**参加者数** 9人（日本）  
**開催日** 9月26日（プレセミナー）  
10月17日（メインセミナー）



## ★平和学習発表会

発表会は中止したが、中学生が発表予定だった平和学習の成果などの資料を「平和学習発表会発表資料集」としてまとめ、発行した。作成した冊子は長崎内の全中学校に配布した。



継承部会員（被爆者）と歩く  
「市民対象碑めぐり」久々の開催



5月8日、約3年ぶりとなる継承部会・原爆遺跡研修班主催「市民対象碑めぐり」を開催しました。約60人が晴天の下、長崎中央公園周辺から真宗大谷派長崎教務所を巡りました。

部会員は空襲での火災の延焼を防ぐために建物を強制的に取り壊した「建物強制疎開」の話を中心に、当時の状況を説明。真宗大谷派長崎教務所では、原爆による身元不明の遺骨を納められた経緯を任職よりお話しいただいた他、部会員も自らの体験を語りました。

参加者からは「原爆を実際に経験した方の話は、心に強く迫るものがあった」との感想が寄せられました。

継承部会員（被爆者）が語る  
「被爆体験の深化講座」を開催



4月29日、継承部会・継承交流班が主催する「被爆体験の深化講座」を実施しました。

継承交流班のメンバーを中心に6人の被爆者が登壇し、今回のテーマ「長崎の空襲」について体験を話しました。

「空襲警報が鳴ると急いで防空壕に逃げていた」、「防空壕の中では静かにしておかないと、音が飛行機に聞こえて攻撃されると叱られた」、「原爆投下以前に長崎には5回空襲があった」などの体験談の他、空襲で家族を亡くした悲しみ、戦後の生活なども語られました。約30人の参加者が、当時の話に耳を傾けました。

原爆死没者名簿  
「風通し」が行われました



5月18日、追悼平和祈念館交流ラウンジにおいて、亡くなった被爆者らの氏名や死没年月日等が記載された原爆死没者名簿194冊（身元不明の犠牲者を悼むための1冊、広島被爆者1冊ずつを含む）の風通しが行われました。

開放した大型窓から柔らかな風が吹き込む晴天の下、担当する長崎市の職員10人は、原爆が炸裂した11時2分に黙祷を捧げた後、名簿に傷みがないか確認しながら一枚ずつ丁寧にめぐり、外気に当てました。

風通しを終えた名簿は、改めて追悼空間の名簿棚に納められました。

被爆者証言ビデオ「8月9日の記憶」  
YouTube 配信等開始



被爆者が被爆した場所等で体験を語る被爆証言ビデオ「8月9日の記憶」のYouTube配信及びDVDの無料貸し出しを開始しました。

今回制作した被爆証言映像は、本人映像とともに被爆当時の写真や絵を多く挿入し、当時の様子がより分かりやすいものになっています。また、1本15分程度にまとめていますので、学校等での平和学習でも利用しやすくなっています。

今後も当協会では被爆体験講話の活動を行っている継承部会員を中心に証言映像を作成し、多くの方に被爆者の声を届けていきます。

# 「音楽と、朗読と、言葉で紡ぐ ピーター・タウンゼントの平和への想い。」 観覧者募集

郵便配達中に被爆し、背中に大火傷を負った谷口稜暉さん（2017年逝去）の被爆体験を基に、元英空軍大佐でジャーナリストだった故・ピーター・タウンゼントさんが書かれた「ナガサキの郵便配達」。

今回、「ナガサキの郵便配達」を基に作曲した佐藤洋平さんによるクラシックギター演奏と映画「もののけ姫」の主人公であるアシタカの声を担当した松田洋治さんによる朗読、ピーター・タウンゼントさんの娘であるイザベル・タウンゼントさんとの対談を行います。是非、ご応募ください。



イザベル・タウンゼント

**第一部** クラシックギター演奏（佐藤洋平さん）  
朗読（松田洋治さん）

**第二部** 対談（イザベル・タウンゼントさんほか）

**日時** 8月13日(土)13:30～16:00

**場所** 長崎原爆資料館ホール(長崎市平野町7-8)

**入場料** 無料(ただし、事前申込が必要です)

**申込方法** はがき、またはメールでご応募ください(申込締切 7月25日(月)当日消印有効)

- 郵便はがきの場合 ①郵便番号 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④電話番号をご記入の上、下記までお送りください
- メールの場合 ①氏名(ふりがな) ②電話番号を、mail-magazine@peace-wing-n.or.jpまでお送りください  
※メール送信後、3日以上経っても「受付完了メール」が届かない場合は、必ずお電話ください

**注意事項** ①はがき・メール1件につき、申込者1人のお申し込みとなります  
②協会会員の方に限り、1件につき2人までご応募できます  
「会員」と明記し、希望人数(1人または2人)をご記入ください

**【お申し込み先】** 〒852-8117 長崎市平野町7-8 (公財)長崎平和推進協会 講演会係

No.21



Peace Wing Nagasaki  
会員の広場 (拡大版)

## 「核兵器禁止条約」第1回締約国会議に向けて

2021年に発効した核兵器禁止条約(以下核禁条約と略)の第1回締約国会議が2022年6月21～23日ウィーン市で開催されます。今後の核禁条約の発展をどのように進めるかの重要な会議になります。

まだ核兵器国(5大核兵器国とインド・パキスタン・イスラエル・北朝鮮)の9ヶ国および核の傘国(日本、オーストリア、NATO諸国のドイツなど)合わせて30ヶ国は核禁条約加盟を拒否したままです。61ヶ国の締約国会議だけが会議が開かれるところでしたが、幸いにも、ドイツ、スウェーデン、ノルウェー、スイスがオブザーバー国として出席することが最近決まりました。

今後いかにして核に依存する政策を続けている40ヶ国近い国々を核禁条約に加盟してもらうかが会議の主題となります。この点からするとオブザーバー国の存在は極めて大きな意味を持つてくると思います。これらの国々が、核兵器国とどのように加盟問題を協議していくのか、その方針についてこの締約国会議で少しでも明らかにしてくれば、今回のウィーンの会議は大きな成果を上げることでしょう。

長崎の核廃絶を進める被爆者4団体とそのほかの平和団体、併せて9団体は、5月初めに「核兵器禁止条約の会・長崎」を発足させ活動をスタートさせました。2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻と同時にプーチン大統領の核兵器を使用するとの威嚇の声明は世界を震撼させました。「最後の被爆地を」と叫んできたわれわれ長崎市民も大きなショックを受けました。

今回の締約国会議には長崎市から今のところ12名の方々がウィーンに向けて準備の真っ最中です。被爆者2名および2世2名が含まれます。長崎市民の「核なき世界を」と「長崎を最後の被爆地に」の大きな声をウィーンに届けます。成果にご期待下さい。

核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会

委員長 朝長万左男(6月7日寄稿)



お便りをお寄せください!

E-mail : info@peace-wing-n.or.jp

〒852-8117長崎市平野町7-8

長崎平和推進協会「会員の広場」係

平和推進協会では、会員の皆様よりお便りを募集します。会報をご覧になってのご意見、ご感想、お便りなど、会員の皆様の声をお寄せください。投稿いただいた声は、広報委員会を経て、「会員の広場」で会報「へいわ」に掲載させていただきます。投稿は300字以内でお願いします。また、匿名の投稿はご遠慮ください。



# TOPICS! へいわトピックス

## PeaceなねこTシャツ&バッグ販売開始!

長崎の「尾曲がり猫」にも多く見られる、クルンと曲がった鍵しっぽは、幸せを引っ掛けてくると言われているそうです。この「幸運の猫」をモチーフとして、PeaceなねこTシャツとエコバッグを作りました。

原爆資料館、協会サイト等で購入できます。

- Tシャツ 2,000円(税込)  
サイズ:S・M・L・XL  
カラー:白・黒
- エコバッグ 770円(税込)  
サイズ:H590×W36×D150mm  
カラー:グリーン・グレー・ブルー



## V・ファーレン長崎 ピースサポーターに 登録しました

サッカークラブ「V・ファーレン長崎」は、被爆地・長崎をホームタウンとするクラブとして、創設時からサッカーを通じて平和な世界へ寄与することを掲げて活動されています。

今年4月、当協会はクラブが大切にしている平和活動を共に推進する「ピースサポーター」の一員となりました。今後、V・ファーレン長崎の皆さんと一緒に、平和について考える活動に更に取り組んでいきます。



## ～語り合おう in Nagasaki～

### 日本語弁論大会 参加者を募集します

10月16日(日)に追悼平和祈念館で開催する「外国人による日本語弁論大会」では、参加者を募集しています。

出場資格や申込方法等詳細については、主催する(公財)長崎県国際交流協会(電話095-823-3931)にお問い合わせいただくか、下記二次元コードよりウェブサイトをご確認ください。



## 「核兵器と私たちの未来」

### オピニオンを募集します

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)では、設立10周年企画として16～30歳未満の方から「核兵器と私たちの未来」に関するオピニオンを募集しています。

小論文やエッセイなど自由な形式で、あなたの想いや意見をお聞かせください。卓越したオピニオンには賞品もあります。

応募方法や応募期間など、詳しくはRECNAのウェブサイトをご覧ください。



## 世界の核弾頭の数

	ロシア	米国	中国	フランス	英国	パキスタン	インド	イスラエル	北朝鮮	合計
2022年6月1日	5,975	5,425	350	290	225	165	160	90	40	12,720

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) 提供 <https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>

## 寄附者紹介

ありがとうございます

- ◎四田 則子 (敬称略) 二万円
- ◎鈴木 達治郎 一万円
- ◎山中 弘幸 一万円
- ◎匿名(二件) 四、六九四円

## 会員数報告

- ◎維持会員 1,029名
- ◎賛助会員 169名
- ◎学生会員 11名

令和4年6月21日現在  
賛助会員(団体・法人)の一覧は協会ホームページに掲載しています。  
ご支援と協力誠にありがとうございます。  
会員拡大にもご協力をお願いいたします。

## 会費納入のお願い

当協会の活動は皆さまの会費に支えられています。  
今年度まだ会費を納めていただけていない方は、何卒趣旨をご理解いただき、先にお送りしている払込票により最寄りの郵便局で納入くださいますようお願いいたします。  
お支払いいただいた会費は、源泉所得税の税額控除の対象になります。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。か、事務局までご連絡ください。

